

天童 ボランティアサークルが催し



絵本の読み聞かせにくぎ付けの様子の子どもたち
＝天童市・県青年の家

「ちょっとはやいクリスマスかい」が11日、天童市の県青年の家で開かれた。園児と保護者約30人が多彩なイベントを楽しみ、クリスマス気分を味わった。

同青年の家がコーディネートするボランティアサークル「nico (にこ) こえ」(野口翔太代表)が初企画し、手作り感満載のイベントでもてなした。子どもたちは大学生や高校生のお兄さん、お姉さんから絵本を読み聞かせてもらったり、ゲームやクリスマスソングを楽しんだりと大はしゃぎ。段ボールで作ったクリスマツリーの飾り付けでは、靴下をデザインした紙に「イチゴケーキが食べたい」「ピンクのリボンがほしい」などと願い事を書き、貼り付けていた。

山辺高福祉科2年の荒木美咲さん(17)は「子どもたちの笑顔から、私たちも元気をもらった。楽しい活動になって良かった」と話していた。

(落合慶)

「山形新聞 2022年12月14日(水)より」 山形新聞社提供